

グジャラート州森林開発計画フェーズ2【インド】

施策所管局課 国別開発協力第二課
 評価年月日 平成 29 年 4 月

1 案件概要	
(1) 供与国名	インド
(2) 案件名	グジャラート州森林開発計画フェーズ2
(3) 目的・事業内容 * 閣議決定日, 供与条件などを含む	<p>グジャラート州において, 住民参加型の植林及び生計改善活動等を行うことにより, 森林の再生及び地域住民の所得向上を図り, もって地域の環境改善及び貧困削減に寄与するもの。</p> <p>案件の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 植林事業 ・ ソフトコンポーネント ・ コンサルティングサービス <p>ア 閣議決定日: 平成 19 年 3 月 30 日 イ 供与限度額: 175.21 億円 ウ 金利: 0.75% エ 償還(据置)期間: 40(10)年 オ 調達条件: 一般アンタイト</p>
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	<p>ア 社会ニーズの現状</p> <p>本事業計画当初, グジャラート州の 2003 年度における森林被覆率は 13.0% であり, インド全国平均(23.7%)よりも大幅に低く, また森林面積に占める疎林の割合が 57.5%(インドの全国平均 42.4%)と高く, 森林の量も質も悪い状況であることに加え, 同州東部の丘陵地域の指定部族(先住民族)が森林に依存した生活をしており, 過放牧や森林資源の過剰採取が森林の劣化を招いていた。現在も疎林の割合は 61.8%(2015)に上るなど, 開発課題は引き続き認められ, 低い森林被覆率に対応する適切な森林保存の基盤整備等が必要であることから, 現在も本事業の社会的ニーズは変わらない。</p> <p>イ 事業遅延に関する経緯・現状</p> <p>為替変動の影響を事業計画に反映させるために時間を要したが, 現在, 更新された事業計画のもと村落ベースで植林活動は円滑に行われ, 事業は順調に進められている。</p>
(2) 今後の対応方針	<p>本件に関する社会的ニーズに変化は見られず, 事業完成後は当初予定どおりの効果が見込まれ, 事業進捗を妨げていた要因は解決しており, 貸付け最終段階であることから, 引き続き支援を継続していく。</p>
3 政策評価を行う過程において使用した資料等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交換公文 ・ 外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 (http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/data/zyoukyou.html) ・ 国際協力機構の案件検索 (http://www2.jica.go.jp/ja/yen_loan/index.php) ・ 国際協力機構の事業事前評価表 (http://www.jica.go.jp/activities/evaluation/before.html) ・ そのほか国際協力機構から提出された資料